

## 4. 子ども読書活動推進計画

平成 22 年度より 5 ヶ年を計画期間とする「豊中市子ども読書活動推進計画第 2 期実施計画」を 23 年 2 月に策定し、子ども読書活動に関わる市民ボランティア、関連各部署担当者などに計画とその概略を周知するため、概要版の作成に着手した。

これまでの取組みや評価を踏まえ、第 2 期実施計画をもとに「とよなか子ども読書マップ」製作など関連事業の取組みと、推進計画の進捗状況の把握および事業評価を行った。

この中で見えてきた課題として、就学前の地域との関わりが少ない居宅親子への情報提供、小学校高学年から中学生の読書離れ、高校生への読書支援活動が挙げられる。

子どもと本をつなぐ地域交流会は、10 月、12 月と 2 回に分けて実施した。1 回目は、子どもと本をつなぐおはなしボランティア講座の受講者を対象に行った。同講座の講師「おはなしボランティアポケット」のメンバーをはじめ、他の読み聞かせボランティアも同席し、活動内容の報告、今後の活動へのアドバイスなどの情報交流の場となった。

2 回目は、広く参加を募り、豊中市での子ども読書の実践について現在の取組みなどの情報共有を図った。「高校生・大学生の読み聞かせボランティア講座受講者アンケート」や、「障害児通園施設あゆみ学園・しいの実学園の保育士や保護者に対する聞き取り・アンケート」、また近隣に公共施設が少ない豊島西地区の子ども文庫訪問やブックスタートの報告などをもとに、これから取り組むべき課題について話し合い、交流した。

24 年度には、10 年間におけるふり返り作業に着手する予定である。



子ども読書活動推進計画 子どもと本をつなぐ地域交流会

## 出前講座

図書館職員が講師となり、子どもの読書の大切さに理解を深めてもらうことや、図書館が行う子育て支援活動の PR を目的として実施しており、子ども読書推進計画の取組みの一つとして位置付けられている。子育て支援センターや保育所、幼稚園、子育てサロン、子育てサークル、学校、公民館などで実施している。乳幼児とその保護者を対象に絵本の楽しさや大切さについて話し、おはなし会を行うこともある。また読み聞かせボランティアや中高生、学校の教員を対象に、読み聞かせの方法やその意義などをテーマとして講座を行っている。23 年度は子育て支援センターや保育所などで絵本出前講座を 52 回開催、参加人数は 1,767 人であった。その他、小学校教員や絵本読み聞かせボランティアへの講座、豊中高校の保育授業への協力、公民館主催の子育て講座、各種図書館関係の研修などに講師として出かけた。計 24 回、参加人数は 873 人であった。

今後も講師となる職員の研修と育成に取り組み、情報検索や図書館利用をテーマとした講座についても実施していきたい。